

社会福祉法人 河 北 会

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

特別養護老人ホーム さくらぎの里

さくらぎの里短期入所生活介護事業所

さくらぎの里居宅介護支援事業所

グループホーム さくらぎ

令和2年度事業報告書

1. 法人の経営概要

令和2年度は、新中期経営計画（平成30年度～令和2年度）の最終年度で、これまでの運営等の見直しを図るため法人組織規程の制定をはじめ所要の規程改正により、法人の基盤整備と令和3年度に予定されている介護保険に関する基準等に沿って虐待防止対応規程の制定及び高年齢者雇用安定法の改正に伴う雇用制度の確立並びにパートタイム労働法改正等に関連する「働き方改革」の基盤整備に努めて参りました。

しかしながら、前年度末からの新型コロナウイルス感染症対策に忙殺され、前年度までの取り組みを継続発展させ次期中期経営計画の策定が頓挫せざるを得ない状況でこの1年が経過しました。

結果、新型コロナウイルス感染症の県内及び盛岡市内に広がりを受けても、「感染しない」「持ち込まない」の指導の徹底（消毒の強化、体温測定の徹底、面会制限の強化等）又は職員意識の高揚に努め、1人も発症に至ることなく成果を上げているところです。

このような制限のある中において、新たな日常生活でのより良いサービスを提供すべく職員の資質向上に重点を置き、施設内研修の充実を図り職員のケアに対する意識改革及び利用者個々に応じた質の高い個別的対応ケアの実現を目指し自己研鑽に努めて参りました。

地域貢献活動として、経済的支援や各種制度、サービスの利用支援に繋げる目的である社会福祉法人協働による「I W A T E あんしんサポート事業」として1件（生活困窮者支援1件）の活動実績となりましたが、地域活動への参加は新型コロナウイルス感染症対策として見送らせていただきました。

令和2年度事業報告に当たり、新型コロナウイルス感染症対策に関しての制限等に対し、施設の利用者並びに家族をはじめ、関係者、地域の皆様から、温かいご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

2. 法人の運営

(1) 役員の選任

① 理事

(1) 高橋 昭 三 (新任)

※ 役員の任期 前任者の残任期間

(令和元年度定時評議員会終結の時から令和3年度定時評議員会終結の時まで)

(2) 利用稼働率

① 特別養護老人ホームさくらぎの里

利用者の長期入院による退所（28名）があったため、年間稼働率は98.9%（前年度対比+0.4%）となった。

② さくらぎの里短期入所生活介護事業所

長期利用の利用者が多く一次的には満床に迫る期間もあったが、年間稼働率は76.7%（前年度対比+2.8%）となった。

③ さくらぎの里の里居宅介護支援事業所

1名の体制から最大2.5人体制となり、地域包括支援センターからの紹介等による新規契約件数も増加となり、月平均件数45.0件（前年度対比+10.2件）となった。

加えて、地域包括センター等との情報交換を随時行った結果、合計で56件の新規契約につながった。

④ グループホームさくらぎ

入院等による退所（2名）があったが、待機者の重度化により退院許可待ちとなり空床期間が長期となり、年間稼働率90.5%（前年度対比▲8.0%）と大幅な減となった。

※ 上記内容の根拠資料については、利用者状況【別紙1】のとおり

（3）入所判定委員会

入所に関して透明性、公平性を確保するため、入所判定委員会を計3回開催し、25名の利用者が入所した。（うち、新規入所後入院等により2名退所）

開催数	開催日	認定者	入所者数
第1回	2.6.16	9名	12名
第2回	2.10.9	13名	11名
第3回	3.1.28	10名	2名
計		32名	25名

（4）施設改修及び備品購入

① 屋上漏水工事 9,471,000 円

② 厨房器具購入 2,070,200 円

※ 整備状況の詳細については、【別紙2】の一覧表のとおり

（5）苦情対応委員会

利用者の権利を擁護し適切な施設運営を行うため、苦情受付窓口担当者及び苦情解決責任者を配置し、計2回開催した。

苦情件数については、年間通じて特別養護老人ホーム0件、短期入所生活介護事業所0件、居宅介護支援事業所1件、グループホーム1件の計2件の苦情があった。

委員会開催日及び苦情内容は、次のとおりである。

開催期日	所管	苦 情 内 容
2.11.12	GH	(1) 環境整備について (2) 備品管理について
3.3.15	居宅	代表電話での対応について

グループホームの苦情(1)については、家族より「敷地内の草刈り処理がなされていない」との指摘を受け、早急に対処し来訪者への不快感を与えないよう環境整備に努めた。

次に苦情(2)については、通院時家族より「車いすの空気が抜けている」ことを指摘され、危険リスクの払拭を図るため定期的に点検するよう備品管理の徹底に努めた。

居宅介護支援事業所の苦情については、利用者家族が代表電話に電話をかけてきた際に施設名を名乗らずに対応されたとの事で、接遇（マナー）の向上を図り、その後の苦情（不満）は出ていない。

(6) 人材確保・継続雇用について

人材確保については介護業界全体の課題となっているが、当法人では人材確保の具体的手段としてはハローワーク等での募集に留まり、①合同就職説明会への参加、②福祉系の学校訪問、③実習生の受け入れについては、新型コロナウイルス感染症対策として積極的に展開することができなかった。

職員採用は、事務、看護師、介護士、介護支援専門員の12名であったが、退職者も11名を数えた。

(7) 職員の資格取得について

令和2年度は、特養介護員2名が、介護福祉士国家試験に合格した。

加えて、医療的ケア第一号、同第二号研修を特養介護員2名が修了し、資格を取得した。

(8) 介護職員に係る処遇改善

令和2年度は、前年度に続き介護処遇改善加算に加え特定介護処遇改善加算の算定要件を満たすとともに、介護保険基準改正に則して規程の整備を図り、介護職員のほか全職員（一部の職員を除く）の処遇改善を図った。

① 介護処遇改善	16,402,820 円（前年度対比＋1,486,234 円）
② 特定介護処遇改善	6,562,430 円（前年度対比＋1,739,246 円）
総額	22,965,300 円（前年度対比＋3,225,480 円）

3. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

回	年月日	場 所	出席者	議 案 等
1	2.5.20	3 階 地 域 交 流 セ ン タ ー	理事6名 欠席0名 監事2名	報告第1号 社会福祉法人河北会理事会における報告事項について 議案第1号 令和元年度社会福祉法人河北会事業報告に関し承認を求めることについて

				<p>議案第2号 令和元年度社会福祉法人河北会決算に 関し承認を求めることについて</p> <p>議案第3号 令和2年度社会福祉充実計画の策定に ついて</p> <p>議案第4号 業務用サーバー賃貸借に係る納入業者 の選定について</p> <p>議案第5号 特別養護老人ホームさくらぎの里漏水 修繕工事に係る業者の選定について</p> <p>議案第6号 社会福祉法人河北会理事候補の選定に ついて</p> <p>議案第7号 令和2年度社会福祉法人河北会定時評 議員会の議題に関する件について</p>
2	2.6.23	書面決議	理事6名 監事2名	<p>議案第1号 業務用サーバー更新に係る納入業者の 決定並びに賃貸借契約の締結に関し、 議決を求めることについて</p> <p>議案第2号 特別養護老人ホームさくらぎの里漏水 修繕工事に係る施工業者の決定並びに 請負契約の締結に関し、議決を求める ことについて</p>
3	2.9.9	3階地域 交流セン ター	理事6名 欠席0名 監事2名	<p>報告第1号 社会福祉法人河北会理事会における報 告事項について</p> <p>報告第2号 新型コロナウイルス対策の経緯につい て</p> <p>議案第1号 施設整備積立資産の取崩について</p> <p>議案第2号 令和2年度さくらぎの里拠点区分会計 収支補正予算（第1次）について</p> <p>議案第3号 令和2年度グループホームさくらぎ拠 点区分会計収支補正予算（第1次）に ついて</p> <p>議案第4号 社会福祉法人河北会職員給与規程の一 部を改正する規程の設定について</p> <p>議案第5号 社会福祉法人河北会各種謝礼金支給規 程の一部を改正する規程の設定につい て</p>

				議案第6号 社会福祉法人河北会の施設利用者決定 委員会設置要綱の一部を改正する要綱 の設定について
				議案第7号 社会福祉法人河北会表彰及び懲罰調査 委員会規程の一部を改正する規程の設 定について
				議案第8号 グループホームさくらぎ運営推進会議 設置要綱の一部を改正する要綱の設定 について
				議案第9号 社会福祉法人河北会苦情処理規程の一 部を改正する要綱の設定について
				議案第10号 育児・介護休業等に関する規程の一部 を改正する規程の設定について
				議案第11号 グループホームさくらぎ運営規程の一 部を改正する規程の設定について
				議案第12号 社会福祉法人河北会慶弔規程の設定に ついて
				議案第13号 社会福祉法人河北会生計困難者に対す る利用者負担額減免規程の廃止につい て
				議案第14号 令和2年度第2回社会福祉法人河北会 評議員会の議題に関する件について
4	3.1.27	3階地域 交流セン ター	理事6名 欠席0名 監事1名	報告第1号 社会福祉法人河北会理事会における報 告事項について
				報告第2号 新型コロナウイルス対策の経緯につい て
				議案第1号 社会福祉法人河北会組織規程の設定に ついて
				議案第2号 社会福祉法人河北会契約職員就業要綱 の一部を改正する要綱の設定について
				議案第3号 社会福祉法人河北会正規職員への登用 に関する規程の設定について
				議案第4号 社会福祉法人河北会職員定年規程の設 定について

				議案第 5 号 社会福祉法人河北会職員再雇用規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 6 号 社会福祉法人河北会就業規則の一部を改正する規則の設定について
				議案第 7 号 社会福祉法人河北会職員給与規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 8 号 社会福祉法人河北会育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 9 号 社会福祉法人河北会調査委員会運営規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 10 号 社会福祉法人河北会給食会議設置要綱の廃止について
				議案第 11 号 社会福祉法人河北会評議員選任・解任委員会運営細則の一部を改正する細則の設定について
				議案第 12 号 社会福祉法人河北会評議員選任・解任委員会委員の選任について
				議案第 13 号 社会福祉法人河北会会計処理の是正について
				議案第 1 号 令和 3 年度社会福祉法人河北会事業計画の同意について
5	3.3.16	3 階 地 域 交 流 セ ン タ ー	理事 6 名 欠席 0 名 監事 1 名	議案第 2 号 令和 3 年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支当初予算の同意について
				議案第 3 号 令和 3 年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支当初予算の同意について
				議案第 4 号 令和 2 年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支補正予算（第 2 次）の同意について
				議案第 5 号 令和 2 年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支補正予算（第 2 次）の同意について

				議案第6号 社会福祉法人河北会虐待防止対応規程 の設定について
				議案第7号 社会福祉法人河北会謝礼金支給規程の 一部を改正する規程の設定について
				議案第8号 社会福祉法人河北会苦情処理規程の一 部を改正する規程の設定について
				議案第9号 特別養護老人ホームさくらぎの里運営 規程の一部を改正する規程の設定につ いて
				議案第10号 さくらぎの里短期入所生活介護事業運 営規程の一部を改正する規程の設定に ついて
				議案第11号 さくらぎの里居宅介護支援事業所運営 規程の一部を改正する規程の設定につ いて
				議案第12号 グループホームさくらぎ運営規程の一 部を改正する規程の設定について
				議案第13号 令和3年度社会福祉法人河北会積立金 の計上について
				議案第14号 令和2年度第3回社会福祉法人河北会 評議員会の議題に関する件について

(2) 評議員会の開催状況

回	月 日	場 所	出席者	議 案 等
1	2.6.5	3階地域交 流センター	評議員7名 欠席0名 監事2名	報告第1号 令和元年度社会福祉法人河北会事業 報告について 議案第1号 令和元年度社会福祉法人河北会決算 に関し承認を求めることについて 議案第2号 令和2年度社会福祉充実計画の策定 に関する承認について 議案第3号 社会福祉法人河北会理事の選任につ いて 議案第4号 令和2年度理事及び監事に対する報 酬の年間支給総額の範囲について

2	2.9.18	3階地域交流センター	評議員 5 名 欠席 2 名 監事 2 名	報告第 1 号 新型コロナウイルス対策の経緯について
				議案第 1 号 施設整備積立資産の取崩について
				議案第 2 号 令和 2 年度さくらぎの里拠点区分会計収支補正予算（第 1 次）について
				議案第 3 号 令和 2 年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支補正予算（第 1 次）について
3	3.3.24	3階地域交流センター	評議員 6 名 欠席 1 名 監事 2 名	議案第 1 号 令和 3 年度社会福祉法人河北会事業計画の承認について
				議案第 2 号 令和 3 年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支当初予算の承認について
				議案第 3 号 令和 3 年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支当初予算の承認について
				議案第 4 号 令和 2 年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支補正予算（第 2 次）の承認について
				議案第 5 号 令和 2 年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支補正予算（第 2 次）の承認について

(3) 出納調査

実施日	調査対象期間	調査員	所 見
2.5.8	H31.4.1～R2.3.31	2 名	指摘事項なし
2.10.27	R2.4.1～R2.6.30	2 名	指摘事項なし
3.3.4	R2.7.1～R2.12.31	2 名	指摘事項なし

(4) 監事監査

実施日	監査対象期間	監査員	所 見
2.5.8	H31.4.1～R2.3.31	2 名	指摘事項なし

4. 特別養護老人ホームさくらぎの里及びさくらぎの里短期入所生活介護事業所の運営

(1) 総合防災訓練の実施状況

実施月	想定内容	訓練内容	参加者
2.8.28	土砂災害 想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消 火器使用方法・屋内消火栓)	利用者 29 名 職 員 21 名
2.9.17	地震想定	シェイクアウト訓練 (盛岡市主催)	35 名参加
2.12.3	夜間想定	総合訓練 (通報・避難誘導・消火器使 用方法)	職 員 20 名 利用者 3 名

(2) 広報委員会

- ① 広報「さくらぎだより」は、四半期毎に発行を目標としたものの、新型コロナウイルス感染症対策により実施できた行事が少なく、年 2 回の発行に留まった。
- ② ホームページは、新型コロナウイルス感染症対策のための面会制限等のお知らせを適宜載せることができたが、行事等が少なく写真を載せる回数は減少した。

(3) 安全委員会・事故対策委員会・身体拘束委員会・感染症対策委員会・安全衛生委員会の活動

① 安全委員会

毎月 1 回定例開催し、課題解決に取り組んでいる。翌月のリーダー会議で報告する他、昼の申し送り時も職員に伝達し、再発防止に取り組んだ。

② 事故対策委員会

令和 2 年度の事故・ヒヤリハット件数は 100 件（前年度 151 件、前々年度 230 件）と前年度対比▲ 51 件となった。年々事故防止に対する意識の向上、目配り等が浸透しつつあることがうかがえる。

今年度は、当初から施設内での新型コロナウイルス感染症が発生した場合を想定し、職員の配置、給食の提供などのシミュレーションを実施し、現状での対応の課題を確認した。

また、利用者の認知機能の低下に伴い、センサーマット、エアーマットを追加購入し転倒リスクの防止を図ったほか、施設内でリスクマネジメント研修を実施し、職員に安全な業務を周知した。

③ 身体拘束委員会

3 か月に 1 回開催し、施設内での新型コロナウイルス感染症の発生時に利用者が不穏になって介護が困難な場合を想定し、身体的拘束も視野に入れた検討を行うこととした。身体拘束の研修は、スピーチロックを取り入れて周知した。

④ 感染症対策委員会

新型コロナウイルス感染症の発生時の対応、対策を主として10回開催した。物品の備蓄、職員と利用者の健康チェックを毎日実施した。

また、施設内での新型コロナウイルス感染症の発生時のゾーニング、職員全員による防護具の着脱方法の実演等により、発生時の対策を図った。

加えて、職員の周囲に新型コロナウイルス感染症の感染者や疑われる者が生じた際には、予防的出勤停止(14日間)として施設内への持ち込みを抑えることができた。

⑤ 安全衛生委員会

施設内に新型コロナウイルス感染症が発生した場合、職員の感染リスクが高いと不安が聞かれたことから、個別に傾聴し新型コロナウイルス感染症の感染時の対応をすり合わせ、リスクの低下を検討してメンタルケアを行った。

また、感染リスクのある職員や体調不良者は予防的出勤停止を励行し、施設内における感染予防に取り組んだ。職員の健康診断とストレスチェックを実施し、保健指導により生活習慣病の予防に努めた。

※ 令和2年度事故・ヒヤリハット報告の発生件数等の詳細については、
【別紙3】のとおり

(4) 研修

新型コロナウイルス感染症対策により外部研修(オンライン研修を除く)が中止となり、施設内での新型コロナウイルス感染症関連研修を多く開催し、新型コロナウイルス感染症の予防に備えた。

① 施設内研修実施状況

開催日時	研修内容		講師
2.4.17	新型コロナウイルス感染症対策	①感染拡大防止 ②病状悪化防止 ③新型コロナ発生時の対策と対応について	雪ノ浦施設長 堀口総務課長 藤田看護主任 田口管理栄養士
2.4.24			
2.4.27~28			
2.4.30			
2.5.15	身体拘束①	スピーチロックの理解	藤田看護主任
2.5.29			
2.6.5	緊急時対応・感染症予防対策	感染症の発生時速やかに受診できる対策	藤田看護主任
2.6.19	拘縮予防・ボジショニング	①安楽な姿勢の保持 ②拘縮が進む要因 ③スライディングシートの使用	山崎機能訓練指導員
2.8.7	防災研修	①自衛消防組織の役割 ②施設内消火設備の説明 ③福祉車両の説明	中村生活相談員
2.8.21			

2.9.4	組織力強化の方法	①ベクトルの一致性 ②横のスクラム ③役割の遂行	堀口総務課長
2.9.11			
2.10.16	身体拘束②	①身体拘束種類 ②弊害と拘束実施時の手順方法	藤田看護主任
2.10.23			
2.11.13	転倒によるリスクマネジメント	①ヒヤリハットの分析 ②対処方法	藤田看護主任
2.11.20			
2.12.24	外部研修 報告会	新型コロナウイルス感染症対策 地域リハビリテーション関係	藤田看護主任 中村介護員
3.2.12	摂食嚥下リハビリテーション	①適正な食事介助方法 ②パタカラ体操	山崎機能訓練指導員
3.2.19			
3.2.16	口腔ケアと摂食嚥下について	①口腔ケアの重要性 ②口腔ケアの効果について	佐藤博歯科医師

② 施設外研修受講状況

開催日	主催	テーマ	参加職種	参加者
2.6.8	岩手県サービス運営適正化委員会	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	施設長	雪ノ浦昭子
2.7.15	盛岡市地域包括支援センター連絡会	盛岡市地域包括支援センターケアマネジメント支援合同会議・新任ケアマネージャー研修	介護支援専門員	瀧澤愛華
2.8.7	岩手県社会福祉法人経営者協議会青年会	令和2年度第1回総会・セミナー	事務長	雪ノ浦需
2.8.11	チームもりおか	すぐに役立つ摂食嚥下リハビリテーション	機能訓練指導員 介護員	山崎藍 延足彰子
2.9.18	岩手県食形態分類標準化推進委員会	県食形態分類標準化推進研修会	管理栄養士	田口郁美
2.10.5	岩手県立大学看護実践研究センター事業	心電図の読み方ー心電図の基本と不整脈の基礎ー	准看護師	三上真一
2.10.12 2.10.13 2.11.11～12	岩手県社会福祉協議会	令和2年度岩手県介護職員等医療的ケア研修(第一号、二号研修-講義、演習)	介護員	岩鼻拓士・ 小笠原正樹

2.10.14	いわてリハビリテーションセンター	地域リハビリテーション関係職員研修会	介護員	中村美知子
2.10.19～21 2.12.10～11	いきいき岩手支援財団	岩手介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修	介護支援専門員	井上扶実子
2.10.22	いきいき岩手支援財団	県認知症対応型サービス事業開設者研修	事務長	雪ノ浦需
2.10.29	岩手県社会福祉協議会	新型コロナウイルス感染症対策セミナー	看護主任 介護主任	藤田ミ子 大堂公晋
2.10.29～30	岩手県立大学社会福祉学部	社会福祉法人役員研修	事務長	雪ノ浦需
2.11.10	岩手労働局雇用環境均等室	パートタイム・有期雇用労働法説明会	事務長	雪ノ浦需
2.11.11	岩手県保健福祉部長寿社会課	令和2年度管理者向け労働環境整備のための処遇改善加算セミナー	事務長	雪ノ浦需
2.11.15	いきいき岩手支援財団	認知症対応型サービス事業管理者研修	ユニットリーダー	佐藤聡洋
2.11.16	中央ブロック高齢者福祉協議会	令和2年度新任職員研究会	施設長 ユニットリーダー	雪ノ浦昭子 佐藤聡洋
		令和2年度第1回介護部会研究会	介護員	鳥居裕子 鈴木真貴子
2.11.19～20 2.12.3～4	日本介護福祉士会／岩手県介護福祉士会	令和2年度介護福祉士実習指導者講習会	介護主任	大堂公晋
2.12.1～17	岩手県社会福祉事業団	令和2年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【チームリーダー編】	ユニットリーダー	中田信孝
2.12.9～10	いわてリハビリテーションセンター	保健・福祉等高齢者施設職員リハビリテーションケア技術講習会	介護員	鈴木真弥
2.12.21	岩手県保健福祉部長寿社会課	ユニットリーダー研修	ユニットリーダー	佐藤聡洋
3.1.28	岩手県社会福祉協議会	あんしんサポート相談員養成研修	生活相談員兼介護支援専門員	瀧澤愛華
3.2.6	岩手県看護協会	新型コロナウイルス感染症と看護管理者の役割	看護主任	藤田ミ子
3.2.18	岩手銀行	介護報酬改定セミナー	事務長	雪ノ浦需

3.2.22	介護労働安定センター	働きやすく魅力ある職場作りセミナー	施設長	雪ノ浦昭子
3.3.9	いきいき岩手支援財団	介護ロボットフォーラム	機能訓練指導員	山崎藍
3.3.10	サンメディカル	介護のみらい☆シンポジウム	介護員	齊藤達也 井上真衣 佐々木結
3.3.19	日本栄養士会	介護報酬改定(栄養関連)研修会	管理栄養士	田口郁美
3.3.22	NDソフトウェア株式会社	「LIFE」セミナー	生活相談員	中村健太郎
3.3.23～25	盛岡市保健福祉部介護保険課	介護報酬改定等に係る説明会	各事業所担当者	川原・石垣・ 中村・瀧澤・ 大堂・山崎・ 藤田・田口

(5) 実習生の受入状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、全ての受け入れを中止した。

(6) ボランティア・福祉体験受け入れ・サークル活動・行事等の状況

① 受入状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、受け入れを中止した。

② 施設行事・ユニット行事実施状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、外出や外部の方を招いての行事は中止とした。3階地域交流センターにおいて、夏祭りや敬老会等を実施した。

※ ユニット行事実施状況については、【別紙4】のとおり

③ サークル活動実施状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、外部講師の受け入れを中止した。

※ サークル活動の詳細については、【別紙5】のとおり

(7) 利用者家族交流会について

新型コロナウイルス感染症の終息をもって開催すべく延期したものの、結果的に中止とした。

(8) 生活介護

① 個別ケアとサービス向上への取り組み

介護記録支援システム「ほのぼの」を運用し、利用者個々の状態把握に努め、各職種と情報共有しながら連携を図り、より良いサービスを提供できるよう創意工夫を行っているが、入所者の重度化により入退院も多く継続的な介護管理及びADLの維持に繋がらないケースが散見された。

コロナ禍の中、オンライン面会に切り替えて家族とのコミュニケーションの確保に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため外部研修が中止になる中、内部研修は感染症対策を増やし、ユニット毎にOJTを行い理解を深めた。

② ユニット行事（趣味活動）について

新型コロナウイルス感染症対策に時間を費やした事もあり、計画的なユニット行事が行えなかった。

(9) 医務室

緊急時対応マニュアルを基に研修を通して、新型コロナウイルス感染症対策の周知に努めた。

協力病院とは、定期薬処方、定期健康診断などにより、情報を提供し連携を図った。他職種とのカンファレンスにより利用者の情報を共有し、早期発見、受診につなげて重症化の防止に努めた。

家族とは、新型コロナウイルス感染症対策のため面会制限が継続されたことから、利用者の状態を電話などで報告し信頼関係の構築に努めた。

インフルエンザ予防接種の実施、汚物処理実演、新型コロナウイルス発生時の模擬訓練を通じ、感染防止に努めた。

ヒヤリハットの内容を分析し、再発防止策を共有により再発防止に努めた。

「医療的ケア」に2名の介護職員が参加して、知識、技術を習得し修了した。

また、既に取得している介護職員に対しても適正な姿勢の保持など指導して、利用者の健康管理に努めた。

(10) 機能訓練

① 利用者の身体機能維持と介護予防活動の活性化

機能訓練指導員が各利用者の身体機能を評価し、その後のケースカンファレンスにおいて他職種と検討を行い、担当者会議などを通じ本人又は家族に機能訓練計画への同意を得た後に実施した。日常生活において、自身で実施可能な活動や動作を継続・維持できるように生活リハビリを軸として、ユニット職員や他職種と連携を図り行った。

機能訓練指導員の個別的な関りとしては、離床機会の提供、車椅子のシーティング及びポジショニングの検討実施、基本動作能力の向上、ADL能力の向上、ユニット職員への介護指導などを行った。

② 介護予防活動や社会参加の取り組み

例年行っていた外部講師を招いてのサークル活動（臨床美術・フラワーアレンジメント）やギター協会などは、新型コロナウイルス感染症対策のために年間を通して活動を中止した。

また、3ユニット合同でのグループ体操も例年通りに実施することが困難な状況だったため、ユニット単位で実施する体操へ切り替えて実施した。

この他に介護予防活動の取り組みとしては、さくらぎ農園（種まき・苗植え・水やり・収穫）、アクティビティー（季節の作品作りなど）、習字などを実施した。

(11) 栄養・調理

① 栄養マネジメント

一人ひとりの身体状況、咀嚼・嚥下機能、嗜好及び意向調査等を通じ、他職種からの情報を基に栄養ケアマネジメントを実施し、各利用者に合った食事の提供に努めた。

② 献立の工夫

栄養目標量に基づき献立を作成し、低栄養になりやすいゼリー食の利用者には栄養強化食品を取り入れ、栄養改善に努めた。また、食材も旬のものを取り入れ、冬季には土鍋料理も提供するなど献立からも季節が感じられるよう取り組んだ。

行事食については、新型コロナウイルス感染症対策のため行事は縮小されたが、敬老会の松花堂弁当やクリスマスケーキ、大晦日の松花堂弁当、年越しそばのほか、祝日に合わせた行事食を提供した。三寿司やちゃんこ太五郎による食事の提供は、慰問ではなく出前の形で専門店の料理を味わっていただく機会として実施した。

また、セレクトおやつは、季節や行事に合わせた内容で実施した。

③ 調理の工夫

ア 食事形態については、岩手県食形態分類標準化推進委員会の分類表に基づき、軟菜食の定義を見直し、軟菜食、刻み食、ゼリー食の食材や調理法の調整を図った。

イ 食塩相当量については、だしわり醤油だけでなくだしわりポン酢も取り入れ、漬物を手作りに変更したことで年間平均は 6.9g であり、目標の 7g 未満を達成することができた。

④ 利用者の意向確認

管理栄養士のみならず調理員もユニットを回り、利用者の意見を聴取した上で給食会議の資料として巡視記録を整備し要望につなげることができた。

⑤ 感染症等予防対策

ア 食中毒や感染症予防については、日頃から食材、器具、調理場の衛生管理を徹底し、安全な食事の提供に努めた。

新型コロナウイルス感染症の発生時に対応できるよう、非常食や必要物品の見直し、提供方法、外部委託業者の選定等の検討を行った。

結果、施設内での新型コロナウイルス又はノロウイルスの発生により厨房での調理不能となった場合に、高齢者に配慮された冷凍弁当の宅配サービスを3日間受けられる「ソフト食備蓄安心パック」を（株）モリレイと契約し、有事の備えを万全にした。

イ ノロウイルスによる食中毒予防対策として、管理栄養士及び調理員によるノロウイルス検便検査を2月に実施した。

⑥ 衛生管理

衛生害虫防除については、厨房内は業者による点検を月1回実施するとともにユニット等で衛生害虫が発生した場合も業者による点検、薬剤散布をその都度実施し、衛生管理を徹底した。

⑦ 行事食（セレクトおやつを含む）の実施状況

年 月	食事の内容
2.4	セレクトおやつ：春のセレクトメニュー（いちごタルト、いちごロールケーキ、桜だんご、桜餅風デザート、桜ゼリー）
2.5	こどもの日（昼食：五目ちらし、おやつ：柏餅） セレクトおやつ：ケーキ（いちご、パイン&マンゴー、ベイクドチーズ、ティラミス）
2.6	セレクトおやつ：和風デザート（あんころ餅風デザート、くず餅風デザート、みたらし団子風デザート）
2.7	七夕（昼食：七夕そうめん、おやつ：七夕デザート） 土用の丑（昼食：お好みひつまぶし） 夏祭り：屋台メニュー（昼食：そうめんチャンプルー、フルーツチョコレート おやつ：クレープ、お好み焼き） セレクトおやつ：アイスクリーム（バニラ、ストロベリー、チョコ）
2.8	お盆（昼食：赤飯、煮しめ、ところてん） セレクトおやつ：アイスクリームトッピングセレクト（ストロベリー、メープルソース、チョコソース）
2.9	敬老会（昼食：松花堂弁当、おやつ：紅白まんじゅう） セレクトおやつ：ロールケーキ（安納芋、りんご、ショコラ、抹茶）
2.10	十五夜（昼食：十五夜プレート おやつ：十五夜ゼリー） ハロウィン（おやつ：手作りかぼちゃプリン） セレクトおやつ：ムースデザート（栗、紅茶、柚子）
2.11	寿司の日（昼食：三寿司出前・にぎり寿司） 手打ちそば（昼食：藤田様より）
2.12	クリスマス会（おやつ：クリスマスケーキ・シャンメリー） クリスマスイブ（昼食：クリスマスプレート） クリスマス（おやつ：クリスマスケーキ（白石食品工業より寄贈）） 大晦日（昼食：松花堂弁当 夕食：年越しそば） セレクトおやつ：クレープ（バナナ味、チョコ味、いちご味、キャラメル味、バニラアイス味）
3.1	正月料理 人日（じんじつ）の節句（昼食：七草粥） 成人の日（昼食：ネギトロ丼） 鍋料理（昼食：酒かす鍋） セレクトおやつ：プリン（さつまいも、チョコ、黒みつ、かぼちゃ、小豆、黒ごま）
3.2	節分（昼食：太巻き・にぎり寿司弁当 おやつ：節分和菓子） 鍋料理（昼食：おでん） バレンタインデー（おやつ：手作りガトーショコラ） セレクトおやつ：ケーキ（ショコラ、マロン、オレンジ、黒ごま、サワーチェリー）

3.3	ひなまつり（昼食：かにちらし、おやつ：桜餅） ちゃんこ鍋（昼食：ちゃんこ大五郎出前・和風塩ちゃんこ） 鍋料理（昼食：クリーム鍋） セレクトおやつ：ケーキ（レアチーズ、ブルーベリー、オペラ、オレンジ、白桃）
-----	---

(12) 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

① 施設部門

課題	経営計画推進体制の確立		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中期経営計画が日常的に意識できるよう、毎月のリーダー会議・職員会議にて職員への意識付けを行う。 ・中期経営計画の進捗状況の確認をリーダー会議等で発表し職員に把握させるとともに職員の意見を集約し改善・向上につなげていく。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比
リーダー会議・職員会議での進捗状況の確認回数	四半期毎	月1回	回数は達成できたが、新たな中期経営計画の策定に至らなかった。

課題	利用者・家族の満足度と接遇マナーの向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳を重視したサービスが浸透するよう、接遇マナー、権利擁護に関する研修を実施する。 ・利用者、家族及びボランティアに満足度に関するアンケートと第三者委員による聞き取り調査を実施し、その結果を踏まえ、要因分析と改善策を全職員に徹底することで満足度の向上に取り組む。 ・利用者家族に対して、担当者会議・面会時の際に要望や意向を聞き取る。 ・広報「さくらぎだより」を定期発行し、家族とのつながりを強化することで相談しやすい環境作りに努める。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比
利用者・家族へのアンケート実施回数	年2回	年0回	アンケートの実施はできなかったが、オンライン面会に切り替えてコミュニケーションの確保に努めた。

課題	地域に根ざした施設運営の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町内会等地域住民に対して、介護福祉に関する教室、説明会等を開催し地域貢献につなげる。 ・施設行事に地域住民やボランティアの参加を募り交流を深める。 ・災害時や高齢者の捜索等緊急時にも積極的に協力する。 ・岩手県社会福祉協議会ボランティア（市民活動センター）を通じ、ニーズにあった新規ボランティアの確保を行う。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比

地域住民向けの介護教室・講演会の開催実施	1～2回	0回	新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できなかった。
ボランティアの積極的受入	5回	0回	新型コロナウイルス感染症対策のため、受け入れを中止した。

課題	職員研修の充実と専門性の向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に定期的に施設内研修を実施し、勤務体制の状況によっては時間外での開催も検討する。 ・引き続き外部研修に積極的に派遣し、復命研修や他職員に対してOJTを行い、日常業務の中で実践していく。また、OJTでの指導を活性化させ共に気づきを向上させる取組みを行っていく。また、施設内研修に、外部講師も積極的に招へいする。 ・職員の資格取得を奨励し、積極的な情報提供を行っていく。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比
施設内研修の開催回数	7回	11回	新型コロナウイルス感染症対策による外部研修が中止となる中、新型コロナウイルス感染症対策を主眼として繰り返し周知を図った。
職員の資格取得率（専門職員数に対する介護支援専門員・介護福祉士の取得割合）	60%	83%	医療的ケア第一号、二号研修に2名参加し、資格を取得した。介護福祉士は、2名の方が合格した。

課題	会議、委員会の活性化と職員間の連携強化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会については、今まで毎月のリーダー会議と併せて開催していたが、今後は内容の充実化と効率化を図るため、各種委員会の開催は毎月末週に開催し、翌月のリーダー会議で内容報告と意見集約を行うこととする。その後、職員会議で議事録等資料を各部署及びユニットに配布するとともに、申し送りでも徹底し浸透させる。 ・資料の作成、決裁、配布、回覧の流れを効率的にすすめるべく、既存の書式の見直しを検討する。 ・事前の資料作成、配布を徹底し、協議事項を把握したうえで会議を開催し、業務に支障を来さぬよう効率的に実施する。 ・会議、委員会開催開始時間の徹底と終了時間を明確にする。 ・職員間の連携強化については、部署毎、ユニット会議の定期的開催と記録の徹底にICTを活用し、情報の一元化と共有を図る。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比
部署毎、ユニット会議の開催回数	毎月1回	3月に1回（平均）	新型コロナウイルス感染症対策のため、目標の開催に至らなかった。

課題	権利擁護の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止、虐待防止について、委員会の活性化を図り個々のケア場面について検証し、虐待防止と利用者の人権や安全に配慮したケアの改善に取り組む。 ・権利擁護及び身体拘束、高齢者虐待防止等について研修会を計画し、職員一人ひとりが関心を持ち、正しい知識を身に付けることで、尊厳の保持及び利用者本位のケアに向けて介護力、看護力を高める。 		
目標項目		令和2年度	
		目標値	実績
身体拘束廃止・虐待防止に向けた研修実施		2回	2回
権利擁護研修への派遣		1名	0名
			<p>安全委員会委員が講師となり、目標を達成した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策により、当該研修が中止となった。</p>

課題	情報開示・情報提供の充実		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・広報「さくらぎだより」については、利用者家族等の知りたい情報が発信できるよう、掲載内容を充実させる。 ・施設選定の参考となるべく、ホームページの掲載内容を検討・精査し、定期的な更新を行う。 		
目標項目		令和2年度	
		目標値	実績
「さくらぎだより」の定期発行		年4回	年2回
ホームページの充実		掲載内容の定期的な変更	不定期に更新
			<p>行事等の中止が重なり、2回の発行に留まった。</p> <p>面会制限のお知らせ等を随時更新する事が出来たが、行事等については不定期であった。</p>

課題	感染症対策の充実及び徹底		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・感染委員会が主体となり、マニュアルの周知を行い、感染症予防対策や緊急時への備えを講ずるとともに、実情に即しマニュアルの見直しを適宜行う。 		
目標項目		令和2年度	
		目標値	実績
感染症予防の周知と研修の実施		6回	12回
			周知に関しては、各部署にマニュアルを備え付けし、全職員に周知徹底を図り目標達成した。

課題	計画的な修繕		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕整備する必要がある設備機器等について調査の上整理し、優先順位をつけ、計画的な修繕を行う。 ・設備機器の正しい使用方法を再確認し、異常の早期発見と報告を徹底する。 ・利用者の行為、職員の誤操作等による突発的な修繕については、発生要因の検証と再発防止策を講じ、突発的修繕の抑制を図る。 ・光熱費の削減を図るべく、省エネへの取り組みを推進する。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比
設備機器使用方法の再確認	取扱いの周知徹底	良	(1)修繕計画が未整備であった。
異常の早期発見と報告の徹底		良	(2)電気契約変更に伴う省エネ対策は、初期の目標を達成した。

課題	利用者の安全管理の徹底		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時マニュアルの周知を徹底し、感染予防、事故対策に努める。 ・協力病院や他職種と連携を図りながら、利用者の状態を把握するとともに体調不良の早期発見と迅速な対応を行い、重症化を防止する。 ・多職種との連携を図り情報共有をする ・「医療的ケア」研修に参加し、介護職員が技術・知識を習得し、利用者の安全を確保する。 ・利用者家族と情報を共有・提供し信頼関係を構築しながら、利用者の健康を維持できるように努める。 ・ヒヤリハット報告の徹底と再発防止に向けた取り組みを継続する。 ・インフルエンザ予防接種の実施、汚物処理実演研修により感染予防に努める。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比
施設内研修の実施	2回	11回	目標達成
「医療的ケア」研修の参加	—	2名受講	全員資格取得

課題	施設利用者の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別実施計画に基づいた生活リハビリ・機能訓練の実施と定期的な評価と見直し。 ・カンファレンスや実施プラン等の利用者情報及び報告について、情報の共有化の徹底。 ・多職種の協力を得ながら、機能訓練ならびに介護予防活動の強化を図る。 ・機能訓練実施体制や方法を見直すことで利用者満足度の高い機能訓練・介護予防活動の提供を継続する。 ・誤嚥性肺炎の予防に向けた取り組みの実施・検討。 		
目標項目	令和2年度		
	目標値	実績	目標対比
<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練実施プランの定期的な評価 ・介護予防活動の見直し 	3ヶ月毎	3ヶ月毎	目標達成

・個別機能訓練の定期的な実施		月2回以上	目標達成
・介護予防活動の回数確保	月2回以上	月平均5回以上	新型コロナウイルス感染症対策による閉鎖的生活環境の解消のため、積極的に取り組み目標を達成した。

課 題	快適な食生活を送れるよう支援する		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養ならびに心身の状況を考慮した栄養マネジメントの実施。 ・栄養ケア計画に基づき、栄養面、嗜好面、季節感を考慮したメニューを作成する。また、日々可能な限りユニットを回り、利用者から食事に対する意見を聴の上、記録し改善につなげる。 ・食中毒や感染症予防については、職員の意識レベルを向上させるため、日常的な注意喚起と衛生管理の徹底に努める。また、調理従事者の月1回の定期的な便検査の他に、最低年1回はノロウィルスの検便検査を実施する。ノロウィルス流行時や発生時には、状況に応じて都度検査実施する。 ・刻み食については、食材や調理法の見直しを行い、食材の形を残した料理を提供する機会を設ける。食形態コードについては、「岩手県版食形態あてはめ表」が公表され次第、今後の食形態について検討・調整し、栄養課内だけでなく、各部署の認識の統一を図る。 		
目標項目		令和2年度	
		目標値	実績 目標対比
食事の減塩対策 (1日当たり7g未満)		献立の見直し・検討	6.9g 目標達成
情報共有・記録簿に関するルール作り		記録簿の見直し	良 介護ソフトによる情報の共有化が図られた。

課題	特養の利用稼働率の維持・向上			
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラグの少ない施設入所を行うため、申込待機者リストの更新を常に行い、待機者の動向調査を行う等管理を継続する。 ・長期入院者については、家族・協力病院と連携し、空床期間をできる限り短縮する。又入院中の空床ベッドを有効利用し、短期入所の利用率アップにつなげる。 ・生活相談員と居宅支援事業所との連携を密にし、空床を埋めるとともに継続利用につなげる。 ・申し込み段階において対象者の情報収集に努めるとともに、関連制度の情報提供を行い、より安心感をもって利用に結び付けることができるようにする。 			
目標項目		令和元年度実績	令和2年度	
		目標値	実績	前期比
施設入所稼働率		98.6%	98.0%	98.9% 目標は達成できたが、入院による空床及び退所後の速やかな新規受け入れが繋がらず、相当数の空床を埋めることができなかった。加えて、空床ショートの利用もなかった。

② 短期入所生活介護事業所部門

課題	短期入所生活介護事業所の利用稼働率の維持・向上			
目標項目	令和元年度実績	令和2年度		
		目標値	実績	前期比
短期入所稼働率	72.8%	90.0%	76.7%	目標には届かなかったが、前年度を大きく上回りことができた。

5. さくらぎの里居宅介護支援事業所の運営

(1) 活動内容

- ① コロナ禍の中、利用者や家族からの相談に対し、訪問及び電話で対応を行った。

新型コロナウイルス感染対策により、有料老人ホームに入所している利用者への訪問が出来ない期間があり、施設職員からの聞き取りにより適宜対応した。

- ② 新型コロナウイルス感染症対策として、定期の担当者会議は照会で行った。事前に十分な情報収集を行うことにより、情報共有の重要性を意識しながらマネジメントすることに努めた。

- ③ 十分なアセスメントを行い、利用者と家族の意向に基づいたケアプラン作成を行いながら、毎月のモニタリングで生活課題の改善につながったか評価を行った。

- ④ 人員が1人から2.5人に増員されたことにより、地域包括支援センター又は関係機関からの依頼を多く受託することができた。

(2) 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

指標	令和元年度実績	令和2年度		
		目標値	実績	前期比
居宅介護計画作成件数(平均)	34.7件	35件	45.0件	2.5人体制により、新規依頼を受託することができ、目標を上回った。

6. グループホームさくらぎの運営

(1) 事業活動内容の総評

令和2年度は、長期入院による退所があったが、待機者の重度化により退院許可待ちとなり速やかな利用開始に繋げることができなく、年間稼働率も大きく落ち込んだ。

利用者については、本人の自己決定を尊重し支援することを心掛け、食事や趣味、本人の希望に寄り添う介護を行った。排泄の自立支援、認知症の進行防止等、在宅生活からの継続性を重視した個別サービスを提供した。

医療面では、利用者が良好な健康状態を維持できるよう、個人のかかりつけ医や施設の協力病院と協力歯科との連携を図り、緊急時のスピーディーな対応を図ることができた。

地域住民との交流行事等については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。

(2) 利用者の身体状況等（令和3年3月31日現在）

区 分	平均介護度	平均年齢	最高年齢	最少年齢
男 性	要介護 1.5	84.5 歳	89 歳	79 歳
女 性	要介護 2.2	89.0 歳	99 歳	77 歳
全 体	要介護 2.1	88.5 歳		

(3) 日常生活

① 援助方針

利用者本位の観点から、プライバシーや人権の尊重と本人の希望を実現する援助のため、職員は制止や言葉の拘束を行わず利用者の体調に注意した上で気分転換を図った。

② 自己判断

利用者が極力自立した生活を送れるよう支援するため、利用者自身が考えて判断する場面を作り、意識して声掛けを行った。

③ 地域・家族交流

地域交流に関しては、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした一方、家族とはオンライン面会によって交流を図った。

④ 感染症対策

新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症対策のためのマニュアルを整備しながら予防対策を徹底し、利用者、職員共に罹患することなく健康に過ごすことができた。結果、1年を通して新型コロナウイルス感染症に関する感染者又は体調不良者はいなかった。

⑤ 食事

区 分		【つばき】		【ぼたん】	
食事の提供時間		摂取状況		摂取状況	
配膳時間		ほぼ自立	9 人	ほぼ自立	9 人
朝食	7 : 3 0	半介助	0 人	半介助	0 人
		全介助	0 人	全介助	0 人
昼食	1 2 : 0 0	自助具使用	0 人	自助具使用	0 人
		食事形態状況		食事形態状況	
夕食	1 8 : 0 0	普通食	9 人	普通食	9 人
		刻み食	0 人	刻み食	0 人

(1) 残食調査は、毎食実施している。

(2) 献立は、栄養バランスを考慮及び季節感のある献立を工夫し、行事食を定期的に提供している。

⑥ 入浴

区 分	【つばき】	【ぼたん】
	一般浴	一般浴
入浴回数（1週）2回以上	ほぼ自立 2人	ほぼ自立 2人
入浴者数（1日）3人程度	半介助 7人	半介助 7人
	全介助 0人	全介助 0人

⑦ 排泄

区 分	【つばき】	【ぼたん】
交換方法	自立 2人	自立 4人
(1) 時間誘導	尿取りパット 0人	尿取りパット 0人
(2) 随時交換	リハビリパンツ 7人	リハビリパンツ 5人
	紙おむつ 0人	紙おむつ 0人

⑧ 移動

区 分	【つばき】	【ぼたん】
車いす	自立 0人	自立 0人
	見守り 0人	見守り 0人
	介助 0人	介助 0人
歩行器	0人	0人
杖	2人	3人
介助歩行	0人	0人
独歩（ほぼ自立）	7人	6人

(4) 行事の実施状況

開催日	行事名	開催場所	参加者
5	22 つばき誕生会	施設内	つばき入居者、職員
	23 ミニ運動会		全入居者、職員
6	7 つばき誕生会		つばき入居者、職員
	20 ぼたん誕生会		ぼたん入居者、職員
	26 つばき昼食作り		つばき入居者、職員
7	7七夕会		全入居者、職員
	16 ぼたん誕生会		ぼたん入居者、職員
	23 つばき誕生会		つばき入居者、職員
	24 流しそうめん		全入居者、職員
8	6 ぼたん誕生会		ぼたん入居者、職員
	26 夏祭り		全入居者、職員
9	5 つばき誕生会		つばき入居者、職員
	12 敬老を祝う会		全入居者、職員
10	6 ぼたん誕生会		つばき入居者、職員
	15 つばき誕生会		ぼたん入居者、職員
	20 芋煮会		全入居者、職員
11	27 つばき運動会		つばき入居者、職員
12	12 クリスマス会		全入居者、職員
	18 つばき誕生会		つばき入居者、職員
	21 ぼたん誕生会		ぼたん入居者、職員
1	2 誕生会・書初め		全入居者、職員
	5 ぼたん新年会		ぼたん入居者、職員
2	2 みすき団子作り		全入居者、職員

3	15	ぼたん誕生会		ぼたん入居者、職員
	21	つばき誕生会		つばき入居者、職員

(5) 事故・ヒヤリハット状況

分析結果として、認知症の症状や加齢に伴う筋力低下に伴い、歩行が安定せず転倒に繋がりがやすいことが要因になっている。この対策として、新型コロナウイルス感染症対策を考慮しつつ毎日の軽体操を1日1回から2回に増やし、室内でも運動できるような工夫をした。

※ 令和2年度事故・ヒヤリハット報告の発生件数等の詳細については、【別紙6】のとおり

(6) 研修受講状況

① 外部研修

新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止又は不参加となった。

② 内部研修

- ・ 新任職員研修
- ・ 身体拘束研修（2回）
- ・ 認知症の理解とケア方法について
- ・ 食中毒予防対策
- ・ 熱中症対策
- ・ 感染症対策（吐物処理方法）
- ・ 応急処置方法

(7) 運営推進会議の開催状況

回	日 時	出席者	主な内容	記録
1	4.20	書面開催	(1)GH 活動報告 (2)利用状況 (3)今後の活動予定 (4)各委員の意見集約	有
2	6.22	(1)盛岡市職員 (2)町内会長 (3)民生委員 (4)包括支援センター職員 (5)入所者家族 (6)施設職員 3	(1)GH 活動報告 (2)利用状況 (3)今後の活動予定 (4)各委員の意見集約	有
3	8.17	(1)盛岡市職員 (2)町内会長 (3)民生委員 (4)包括支援センター職員 (5)入所者家族 (6)施設職員 3	(1)GH 活動報告 (2)利用状況 (3)今後の活動予定 (4)各委員の意見集約	有

4	10.19	(1)盛岡市職員 (2)民生委員 (3)入所者家族 (4)施設職員 3	(1)GH 活動報告 (2)利用状況 (3)今後の活動予定 (4)各委員の意見集約	有
5	12.21	(1)盛岡市職員 (2)町内会長 (3)民生委員 (4)包括支援センター職員 (5)入所者家族 (6)施設職員 3	(1)GH 活動報告 (2)利用状況 (3)今後の活動予定 (4)各委員の意見集約	有
6	2.15	(1)盛岡市職員 (2)町内会長 (3)民生委員 (4)包括支援センター職員 (5)入所者家族 (6)施設職員 3	(1)GH 活動報告 (2)利用状況 (3)今後の活動予定 (4)各委員の意見集約	有

(8) 総合防災訓練の実施状況

実施日	想定内容	訓練内容	参加者
2.7.13	日中想定	総合訓練 消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練・消火訓練 (水消火器)	利用者 19人 職員 8人
2.9.1	地震想定	シェイクアウト訓練 (盛岡市主催)	利用者 18人 職員 7人
3.1.15	夜間想定	総合訓練(夜間想定) 消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練・職員緊急連絡網訓練	利用者 10人 職員 2人

(9) 外部評価受審について

外部評価受審については、令和2年9月25日に評価実施機関である特定非営利法人いわての保健福祉支援研究会による評価実施を受審した結果、指摘事項は特になく評価内容も良好であった。

(10) 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

課題	利用稼働率の維持・向上
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラグの少ない施設入所を行うため、申込待機者リストの更新を定期的に行い待機者の動向調査を行う等管理を更に強化する。 ・入院者については、家族・協力病院と連携し、空所期間をできる限り短縮する。又、入院中の空室を有効活用するため、今後は短期入所も検討していく。 ・特養さくらぎの里と居宅介護支援事業所、他事業所との連携を密にし、常時情報共有していくこととする。

目標項目	令和元年度実績	令和２年度		
		目標値	実績	前期比
施設入所稼働率	99.4%	98.0%	90.2%	退所後の新規入所が速やか できず、目標を大きく下回 った。

【別 紙1】

利用者状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日 稼働日数365日）

（1）入所（特別養護老人ホーム さくらぎの里）定員50名

各 項 目		令和元年度(A)	令和2年度(B)	年度対比(B-A)
① 年間平均利用者数		49.2名	49.5名	0.3名
② 年間延利用者数		18,022名	18,063名	41名
③ 新規入所者数		40名	25名	▲15名
④ 退所者数		39名	28名	▲11名
年間平均利用率(%)		98.5%	98.9%	0.4%
男	男 性			
	① 年間平均利用者数	9.1名	13.0名	3.9名
	② 年間延利用者数	3,363名	4,617名	1,254名
	③ 新規入所者数	9名	8名	▲1名
女	女 性			
	① 年間平均利用者数	40.0名	38.5名	▲1.5名
	② 年間延利用者数	14,659名	13,446名	▲1,213名
	③ 新規入所者数	31名	17名	▲14名
	④ 退所者数	32名	25名	▲7名
割 合				
① 年間平均利用者数		40.0名	38.5名	▲1.5名
② 年間延利用者数		14,659名	13,446名	▲1,213名
③ 新規入所者数		31名	17名	▲14名
④ 退所者数		32名	25名	▲7名

（2）短期入所（さくらぎの里短期入所生活介護事業所）定員12名

各 項 目		令和元年度(A)	令和2年度(B)	年度対比(B-A)
① 年間平均利用者数		8.9名	9.2名	0.3名
② 年間延利用者数		3,244名	3,359名	115名
③ 新規入所者数		148名	102名	▲46名
④ 退所者数		142名	101名	▲41名
年間平均利用率(%)		73.9%	76.7%	2.8%
男	男 性			
	① 年間平均利用者数	3.1名	5.8名	2.7名
	② 年間延利用者数	1,121名	1,343名	222名
	③ 新規入所者数	48名	30名	▲18名
女	女 性			
	① 年間平均利用者数	5.8名	9.6名	3.8名
	② 年間延利用者数	2,123名	2,016名	▲107名
	③ 新規入所者数	100名	72名	▲28名
	④ 退所者数	97名	70名	▲27名
割 合				
① 年間平均利用者数		5.8名	9.6名	3.8名
② 年間延利用者数		2,123名	2,016名	▲107名
③ 新規入所者数		100名	72名	▲28名
④ 退所者数		97名	70名	▲27名

（3）居宅事業所（さくらぎの里居宅介護支援事業所）

各 項 目	令和元年度(A)	令和2年度(B)	年度対比(B-A)
請求実数	417件	540件	+123件
(月平均請求実数)	(34.8件)	(45.0件)	(10.2件)
居宅介護支援費	4,904,070円	5,623,670円	719,600円
居宅予防支援費	224,647円	299,025円	74,378円

(4) 認知症対応型共同生活介護（グループホームさくらぎ）定員18名

各 項 目		令和元年度(A)	令和2年度(B)	年度対比(B-A)
① 年間平均利用者数		17.7名	16.3名	▲1.4名
② 年間延利用者数		6,488名	5,949名	▲539名
③ 新規入所者数		7名	5名	▲2名
④ 退所者数		8名	2名	▲6名
年間平均利用率(%)		98.5%	90.5%	▲8.0%
割 合	男 性			
	① 年間平均利用者数	3.4名	1.8名	▲1.6名
	② 年間延利用者数	1,251名	622名	▲629人
	③ 新規入所者数	1名	1名	0人
	④ 退所者数	4名	0名	▲4人
	女 性			
	① 年間平均利用者数	14.3名	14.7名	0.4名
	② 年間延利用者数	5,237名	5,327名	90人
	③ 新規入所者数	6名	4名	▲2人
	④ 退所者数	4名	2名	▲2人

【別紙2】

令和2年度施設整備状況一覧表

<新規購入・更新>

(特別養護老人ホームさくらぎの里)

年月日	内 容	支出額 (円)
R2. 4. 30	居宅用携帯電話	4,848
R2. 5. 20	ホシザキ業務用冷凍冷蔵庫	990,000
	ホシザキ業務用冷凍庫	539,000
	冷蔵コールドテーブル	286,000
	電気フライヤ・作業台	255,200
R2. 5. 27	車椅子用部品	4,510
R2. 5. 27	社用車用タイヤ	28,800
R2. 5. 28	移乗用ボード2台	24,860
	モバイルイージーカート3台	50,688
R2. 6. 24	テレビ	99,000
R2. 7. 28	ワーキングカート、ステンレスエレクター	86,900
R2. 9. 2	車椅子6台	604,500
R2. 10. 2	デジタルカメラ	40,820
R2. 10. 23	LEDシーリングライト2台	9,962
R2. 10. 27	アクリルパーテーション	38,090
R3. 1. 20	パソコン 1台	146,200
R3. 2. 24	フロアセンサー 7台	199,430
R3. 2. 26	エアマット 2台	199,760
R3. 3. 8	パソコン 1台	148,200
合 計		3,756,768

(さくらぎの里居宅介護支援事業所)

年 月 日	内 容	支出額 (円)
R2. 5. 29	NDソフトウェア ほのぼのNEXT	244,970
合 計		244,970

(グループホームさくらぎ)

年 月 日	内 容	支出額 (円)
R2. 12. 14	NDソフトウェア ほのぼのNEXT 2本	746,900
R2. 12. 23	パソコン 2台	257,400
R2. 12. 14	NDソフトウェア ほのぼのNEXT 1本	239,250
合 計		1,243,550

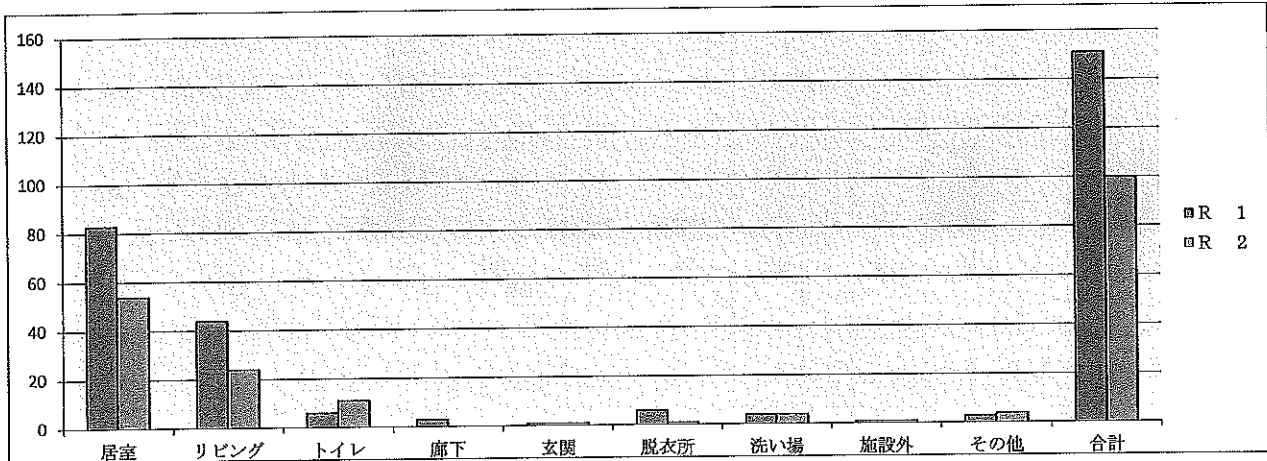
<修繕・その他>

(特別養護老人ホームさくらぎの里)

年 月 日	内 容	支出額 (円)
R2. 4. 6	浄化槽汲み取り作業	294,250
R2. 4. 13	貯水槽清掃消毒作業	92,400
R2. 4. 14	洗濯機、汚物除去機グリス交換	11,880
R2. 5. 8	女子更衣室 電気修繕	5,500
	井水自動給水ポンプ修繕	187,000
R2. 5. 14	市水自動給水ポンプ修繕	187,000
R2. 5. 18	トイレ修繕等	333,300
R2. 5. 29	トイレ修繕	28,000
	便座ヒンジ交換	6,760
R2. 6. 3	宿直室エアコン交換	242,000
	自動車修理代金	50,000
R2. 6. 9	ユニット排水修繕	44,000
R2. 6. 11	トイレ修繕	165,000
R2. 6. 11	ユニット脱衣場壁穴補修	17,600
R2. 6. 25	センサーマット分岐ボックス修理	4,653
	エレベーター部品交換作業	77,660
R2. 6. 26	漏水修繕	9,471,000
R2. 7. 31	室外機基礎修繕	46,090
R2. 8. 12	網戸張替	26,070
R2. 9. 24	トイレ修繕等	366,900
R2. 10. 20	浄化槽汲み取り作業	154,000
R2. 10. 21	ドレンヒーター電源修繕	165,000
R2. 10. 22	ユニット用デジタルカメラ	13,314
R2. 10. 24	電動ベッド電源修理	46,530
R2. 10. 28	トイレ修繕	70,000
R2. 11. 9	高圧開閉器交換工事	569,800
R2. 12. 14	排水トラップ修繕	19,000
R2. 12. 24	職員通用口ドア修理等	20,900
R2. 12. 28	ユニットコンセント修繕	5,000
R3. 1. 7	トイレ修繕	85,800
R3. 1. 18	トラクター修理	6,050
R3. 2. 26	厨房水道パッキン交換	4,400
R3. 3. 24	ドレンヒーター交換工事	88,000
R3. 3. 29	コンセント修繕	22,000
合 計		12,926,857

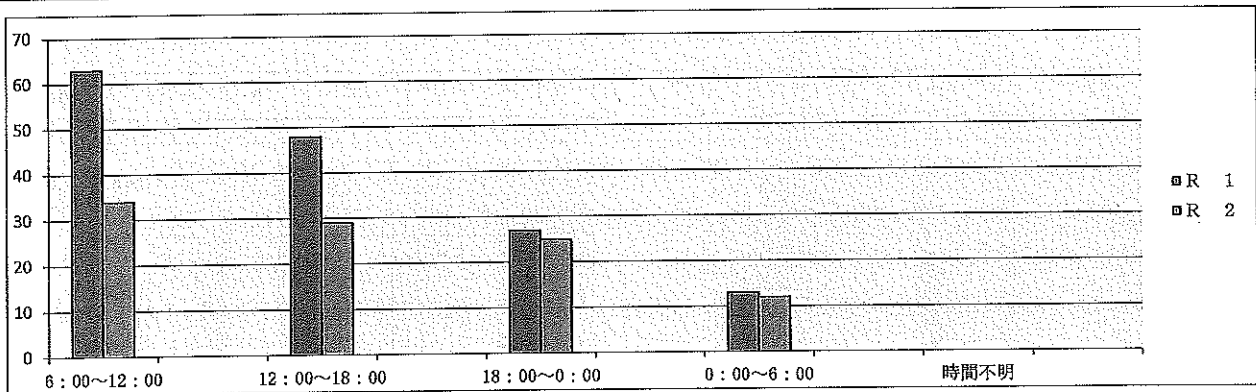
① 場所別事故発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	玄関	脱衣所	洗い場	施設外	その他	合計
R 1	83	44	6	3	1	6	4	1	3	151
R 2	54	24	11	0	1	1	4	1	4	100
増 減	▲ 29	▲ 20	5	▲ 3	0	▲ 5	0	0	1	▲ 51



②-I 時間別事故発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	時間不明	合計
R 1	63	48	27	13	0	151
R 2	34	29	25	12	0	100
増 減	▲ 29	▲ 19	▲ 2	▲ 1	0	▲ 51

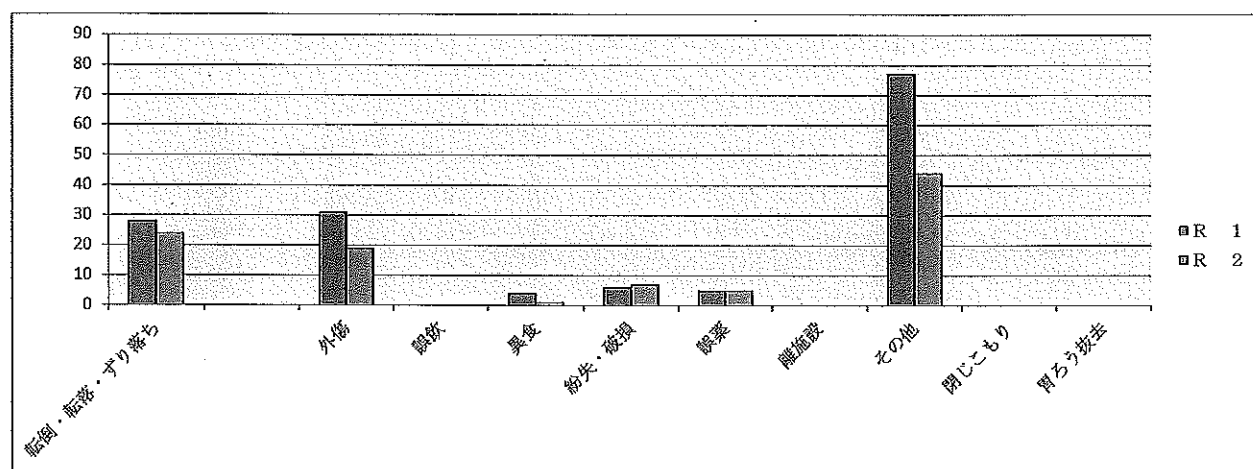


②-II 3時間毎の事故発生件数

	6:00~9:00	9:00~12:00	12:00~15:00	15:00~18:00	18:00~21:00
R 2	14	20	19	10	22
	21:00~0:00	0:00~3:00	3:00~6:00	時間不明	計
	4	4	7	0	100

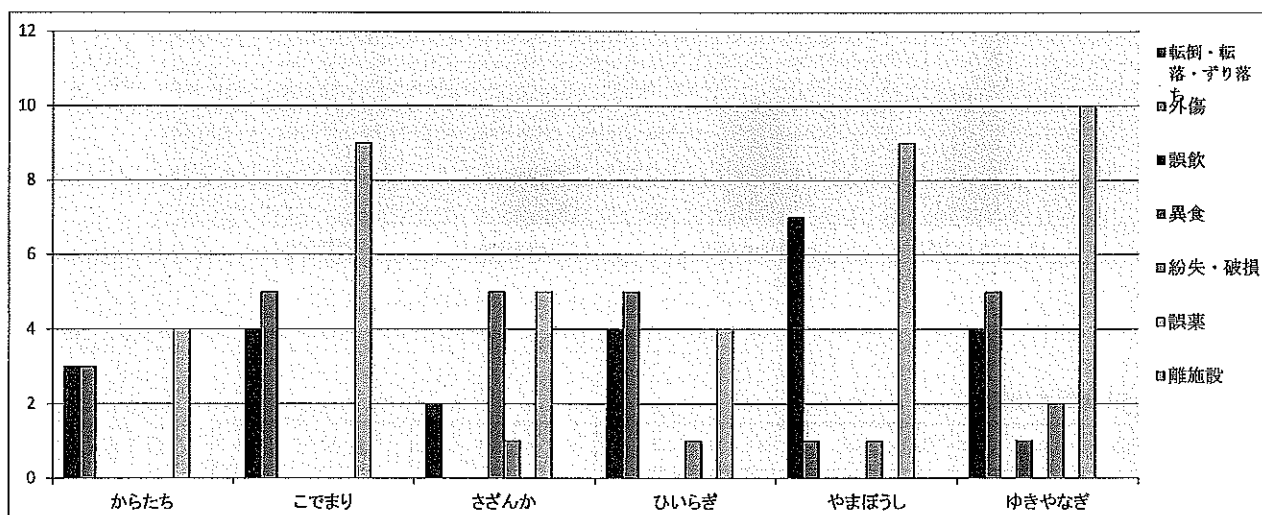
③-I 種類別事故発生件数

	転倒・転落・すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜き	合計
R 1	28	31	0	4	6	5	0	77	0	0	151
R 2	24	19	0	1	7	5	0	44	0	0	100
増 減	▲ 4	▲ 12	0	▲ 3	1	0	0	▲ 33	0	0	▲ 51



③-II 令和2年度ユニット別・種類別事故発生件数

	転倒・転落・すり落ち	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	その他	閉じこもり	胃ろう抜き	合計
からたち	3	3						4			10
こでまり	4	5						9			18
さざんか	2				5	1		5			13
ひいらぎ	4	5				1		4			14
やまぼうし	7	1				1		9			18
ゆきやなぎ	4	5		1		2		10			22
栄養課					2			3			5
合計	24	19	0	1	7	5	0	44	0	0	100



【別紙5】

令和元年度 サークル活動 一覧表

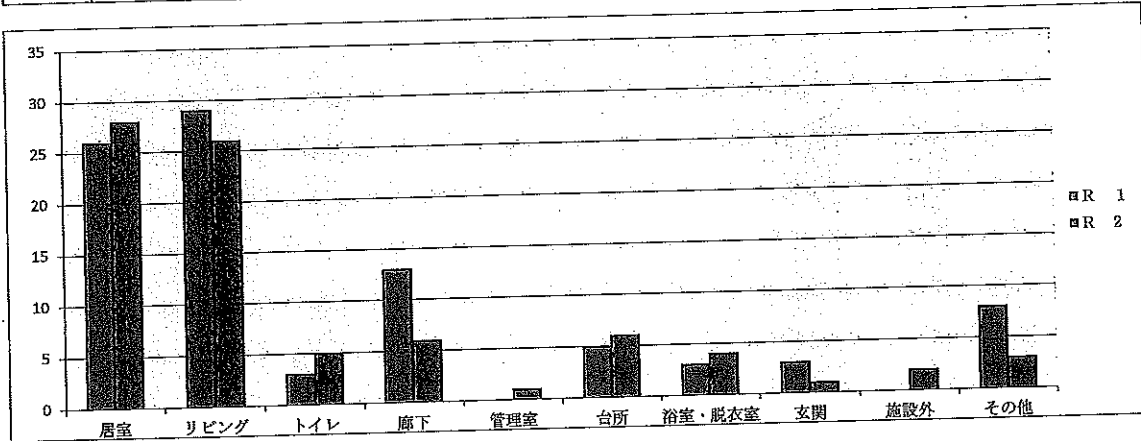
月	日	サークル活動	参加者数	実施者	講師名
4	1. 8	グループ体操	37. 38	機能訓練指導員 ユニット職員	
5	6. 7. 8. 9 . 11. 12. 13. 14. 1 8. 19. 20 . 21. 22. 25. 26. 2 8. 29	ラジオ体操	37. 33. 30. 1 0. 38. 30. 38 . 41. 41. 33. 39. 35. 38. 3 6. 41. 42. 31	機能訓練指導員 ユニット職員	
	9. 12. 18	さくらぎ農園（種まき・苗植え）	17. 7. 12	機能訓練指導員 ユニット職員 事務職員	
6	1. 2. 3. 4 . 5. 9. 10 . 15. 17. 18. 22. 2 3. 29. 30	ラジオ体操	35. 7. 28. 38 . 23. 33. 38. 39. 35. 37. 3 6. 37. 36. 35	機能訓練指導員 ユニット職員	
7	4. 7. 10	七夕飾り付け	35. 2. 7	機能訓練指導員 ユニット職員	
	1. 2. 3. 6 . 7. 10. 1 3. 14. 15 . 16. 22. 23. 27	ラジオ体操	22. 21. 28. 3 4. 38. 7. 5. 2 9. 17. 5. 6. 1 3. 35. 34	機能訓練指導員 ユニット職員	
8	4. 6. 7. 1 0. 19. 24 . 26	ラジオ体操	25. 21. 34. 3 1. 36. 37. 21	機能訓練指導員 ユニット職員	
	25	さくらぎ農園収穫	7	機能訓練指導員	
9	9. 10. 11 . 14. 23. 25. 30	ラジオ体操	41. 8. 17. 5. 6. 13. 26	機能訓練指導員 ユニット職員	
10	1. 6. 9. 1 3. 19. 20 . 21. 22. 27. 28. 2 9	ラジオ体操	27. 26. 17. 6 . 14. 18. 3. 3 2. 16. 7. 12	機能訓練指導員 ユニット職員	
	14	さくらぎ農園収穫	10	機能訓練指導員	
11	4. 5. 6. 1 9. 20. 5. 27	ラジオ体操	14. 13. 24. 2 2. 8. 8. 17	機能訓練指導員 ユニット職員	

月	日	サークル活動	参加者数	実施者	講師名
11	17. 19. 20. 25	クリスマスツリー作り	5. 4. 6. 4	機能訓練指導員 ユニット職員	
12	1. 2. 3. 8. 9. 22	ラジオ体操	20. 6. 14. 5. 4. 8	機能訓練指導員 ユニット職員	
	2. 6. 8. 9	クリスマスツリー作り	2. 2. 11. 31	機能訓練指導員 ユニット職員	
1	11. 12	みずき団子作り	21. 19	機能訓練指導員 ユニット職員	
	6. 13. 20. 22. 25. 28	ラジオ体操	12. 8. 6. 23. 7. 5	機能訓練指導員 ユニット職員	
	6. 7. 11. 12	書初め	19. 14. 21. 19	機能訓練指導員 ユニット職員	
2	11. 19	ユニット内体操	8. 22	機能訓練指導員 ユニット職員	
	25	雛人形飾り付け	8	機能訓練指導員	
3	2. 3. 10. 17. 31	ユニット内体操	8. 26. 20. 24. 20	機能訓練指導員 ユニット職員	
	4. 5	習字	15. 22	機能訓練指導員	
	16	物づくりサークル	5	機能訓練指導員	

※ 令和2年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、外部からの受け入れを中止した。

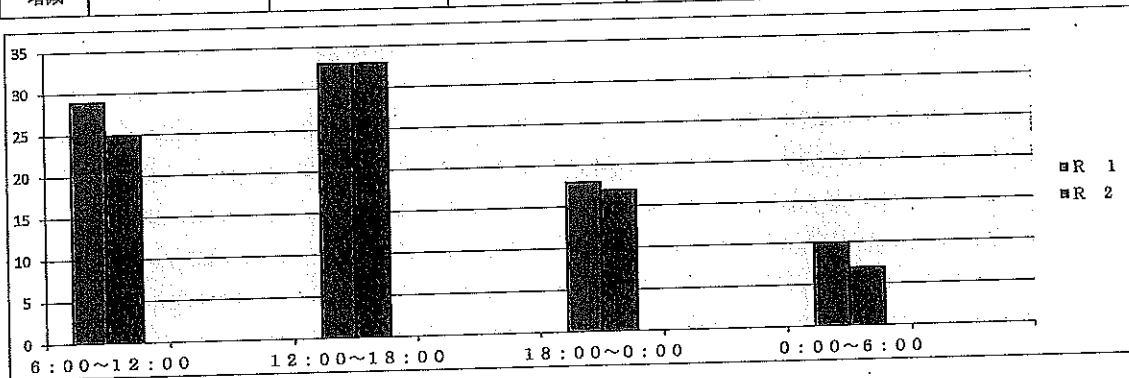
① 場所別発生件数

	居室	リビング	トイレ	廊下	管理室	台所	浴室・脱衣室	玄関	施設外	その他	合計
R 1	26	29	3	13	0	5	3	3	0	8	90
R 2	28	26	5	6	1	6	4	1	2	3	82
増減	2	▲ 3	2	▲ 7	1	1	1	▲ 2	2	▲ 5	▲ 8



②-I 時間別発生件数

	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~0:00	0:00~6:00	合計
R 1	29	33	18	10	90
R 2	25	33	17	7	82
増減	▲ 4	0	▲ 1	▲ 3	▲ 8



③ 種類別発生件数

	転倒	ふらつき	外傷	誤飲	異食	紛失・破損	誤薬	離施設	暴力	未薬	その他	合計
R 1	30	2	5	0	0	13	4	0	3	8	25	90
R 2	19	2	0	0	1	17	0	2	0	4	37	82
増減	▲ 11	0	▲ 5	0	1	4	▲ 4	2	▲ 3	▲ 4	12	▲ 8

